

問1 明治政府が欧米の文化や技術を取り入れるために招いた「お雇い外国人」の一人で、1876年に札幌農学校に赴任したクラークなどと同様に日本の近代化に寄与しながらも、日本の伝統文化を高く評価した人物がいます。岡倉天心とともに日本美術の価値を再発見し、古美術の保護や東京美術学校の設立に尽力したこのアメリカ人の名前を答えなさい。(2021年 熊本県公立入試 類似)

1. フェノロサ 2. モース 3. ナウマン 4. コンドル

問2 1905年のポーツマス条約締結によって日露戦争が終結した後、日本が東アジアにおける権益を拡大した出来事として、韓国に対する政策で適切なものはどれですか。(2017年 佐賀公立入試 類似)

1. 韓国統監府を設置し、外交権を握るなどして韓国を保護国とした 2. 下関条約を締結し、清に韓国の独立を認めさせた 3. 三国干渉を受け入れ、遼東半島を清に返還した 4. シベリア出兵を行い、朝鮮半島からロシア勢力を完全に排除した

問3 明治時代後半、日露戦争の戦費調達を目的とした増税が、日本の民主主義や選挙制度に与えた影響について述べた文として、正しいものはどれですか。(2019年 島根公立入試 類似)

1. 増税によって直接国税の納税額が基準を満たす者が増えたため、有権者の割合が拡大した。 2. 重税に反対する一揆が全国で激化し、政府は納税額による制限を15円以上に引き上げた。 3. 増税への見返りとして、25歳以上のすべての男女に選挙権を認める普通選挙が実施された。 4. 地租の増税に苦しむ地主層が選挙権を放棄したため、有権者数は1900年代を通じて減少した。

問4 1901年に北九州で操業を開始した、官営の八幡製鉄所が建設された背景とその役割について述べた文として、最も適切なものを答えなさい。(2020年 千葉県公立入試 類似)

1. 日清戦争の賠償金を用いて建設され、鉄鋼の国産化を実現することで重工業の発展を支えた。 2. 殖産興業政策の一環として、民間の資本のみを活用して設立された日本初の近代的民営工場である。 3. 日露戦争の勝利を記念して、中国から輸入した鉄鉱石を加工するために東北地方に設置された。 4. 第二次世界大戦後の高度経済成長期に、輸出を目的とした鉄鋼生産を強化するために建設された。

問5 1885年から1899年にかけての日本の貿易統計において、輸入総額に占める綿糸の割合は28.2%から2.8%へと大幅に減少する一方で、原料となる綿花の輸入割合が増加しました。このような貿易構造の変化が起こった背景として、最も適切な説明はどれですか。(2019年 鹿児島公立入試 類似)

1. 製糸業が衰退したことにより、絹織物の生産が綿織物に取って代わられたため。 2. 政府が綿糸の輸入を全面的に禁止し、国産品のみを使用するよう国民に義務付けたため。 3. 大規模な紡績会社が設立されるなど紡績業が発達し、国内での生産体制が整ったため。 4. 重化学工業化が急速に進んだ結果、綿糸よりも鉄鋼や機械の輸入が優先されたため。

問6 明治政府が1875年にロシアとの間で結んだ、千島列島をすべて日本領とする代わりに、樺太(サハリン)における日本の権利を放棄してロシア領とすることを定めた条約は何か。(2021年 北海道公立入試 類似)

1. 樺太・千島交換条約 2. ポーツマス条約 3. 日露和親条約 4. 日露通商航海条約

問7 1903年から1905年にかけての日本の財政状況をみると、軍事費が約1513(単位:千万円)から7306へと約5倍に急増し、国民所得に占める税負担率も18パーセントから23パーセントへと上昇していました。このように多大な経済的負担を強いられた国民が、日露戦争の講和条約であるポーツマス条約の内容に対して不満を爆発させた最大の理由は何ですか。(2026年 愛媛公立入試 類似)

1. ロシアから戦費を補填するための賠償金を得られなかったから 2. 樺太(サハリン)の南半分を譲り受けることができなかったから 3. 韓国(大韓帝国)に対する指導権をロシアに認めさせられなかったから 4. 条約の締結によって関税自主権を完全に失うことになったから

問8 明治政府が日本の産業の近代化を推し進める「殖産興業」の一環として、1872年に群馬県に設立した、生糸の品質向上と増産を目指した施設の名称を選びなさい。(2026年 岐阜公立入試 類似)

1. 富岡製糸場 2. 八幡製鉄所 3. 長崎造船所 4. 足尾銅山

問9 明治政府は、欧米諸国との条約改正に向けた国内の基盤を整えるため、様々な近代化政策を行いました。条約改正の予備交渉を兼ねて派遣された使節団と、殖産興業の一環として輸出用の高品質な生糸を生産するために設立された官営模範工場の組み合わせとして正しいものはどれですか。(2017年 長野県公立入試 類似)

1. 岩倉使節団と富岡製糸場 2. 遣欧使節と八幡製鉄所 3. 小村寿太郎と足尾銅山 4. 陸奥宗光と長崎造船所

問10 江戸時代後期から明治時代にかけての日露関係における出来事について、時期の古いものから順に正しく並んでいるものはどれか。(2021年 北海道公立入試 類似)

1. ラクスマンが根室に來航し、明治時代に樺太・千島交換条約が結ばれ、日露戦争後にポーツマス条約で南樺太を獲得した。 2. 樺太・千島交換条約で千島列島を領土とし、その後にラクスマンが來航し、ポーツマス条約によって全樺太をロシア領とした。 3. ポーツマス条約で南樺太を獲得した後、明治政府がロシアと樺太・千島交換条約を結び、江戸時代にラクスマンが根室に來航した。 4. ラクスマンの來航により樺太の領有が認められ、明治時代にポーツマス条約、続いて樺太・千島交換条約の順で国境が確定した。

問11 大日本帝国憲法下の統治機構において、天皇の協賛機関として設置された帝国議会は二院制をとっていました。国民の選挙によって選ばれる衆議院に対し、皇族や華族、および天皇から直接任命された議員などによって構成された議院の名称を答えなさい。(2017年 大分県公立入試 類似)

1. 貴族院 2. 参議院 3. 元老院 4. 枢密院

問12 明治政府が官営工場を建設するなどして「殖産興業」を推し進めた主な目的として、最も適切な説明はどれですか。(2022年 新潟県公立入試 類似)

1. 欧米の技術を積極的に取り入れることで産業を近代化させ、経済力をつけることで軍事力の強化を図るため 2. 土地の所有者に地券を発行し、収奪量に関わらず現金で税を納めさせることで、政府の財政を安定させるため 3. 江戸時代の封建的な身分制度を廃止し、四民平等の考えを広めることで国民の自由な経済活動を促すため 4. 仏教を排除して神道を国教化し、天皇を中心とした国民の精神的な統合を図ることで国家の基盤を固めるため

問13 明治政府は1881年に国会開設の勅諭を出して10年後の国会開設を約束しましたが、それに向けた憲法調査や行政組織の整備も並行して行われました。この時期、ドイツ(プロイセン)などの憲法を調査するためにヨーロッパへ派遣され、帰国後の1885年に初代内閣総理大臣として内閣制度を創設した人物を次の中から選びなさい。(2019年 新潟県公立入試 類似)

1. 伊藤博文 2. 板垣退助 3. 大隈重信 4. 岩倉具視

答え合わせ・解説

問1	答え 1 フェノロサ	明治初期の日本は欧化主義の影響で、伝統的な日本美術が軽視され、多くの文化財が破壊されたり海外へ流出したりしていました。哲学者として来日したフェノロサは、その美しさに感銘を受けて岡倉天心とともに文化財調査を行い、日本美術の体系化と保護、そして教育体制の整備に大きな役割を果たしました。
問2	答え 1 韓国統監府を設置し、外交権を握るなどして韓国を保護国とした	日露戦争後の1905年、日本はアメリカやイギリスから韓国における指導権を認められたことを背景に、第2次日韓協約を締結しました。これにより、漢城（ソウル）に韓国統監府を設置して保護国とし、1910年の韓国併合へとつながる基礎を固めました。下関条約や三国干渉は日清戦争直後の出来事であり、シベリア出兵はロシア革命後の対応であるため、日露戦争直後の東アジア情勢の説明としては不適切です。
問3	答え 1 増税によって直接国税の納税額が基準を満たす者が増えたため、有権者の割合が拡大した。	日露戦争期の日本では、地租や所得税、営業税などのあらゆる税金が引き上げられました。当時の衆議院議員選挙法では、選挙権を得るために「直接国税10円以上」を納める必要があったため、増税によって意図せずしてこの基準をクリアする国民が増えました。この現象は、国民の政治参加への意識を高める一助となり、のちの大正デモクラシーや普通選挙運動へとつながる背景の一つとなりました。
問4	答え 1 日清戦争の賠償金を用いて建設され、鉄鋼の国産化を実現することで重工業の発展を支えた。	明治政府は、軍事力の強化や鉄道建設などのために不可欠な鉄鋼の自給自足を目指しました。1895年に清から支払われた賠償金を資金に充て、1901年に操業を開始したこの製鉄所は、政府が直接運営する「官営」の工場でした。場所として北九州（八幡）が選ばれたのは、近くに筑豊炭田があり燃料の石炭を確保しやすかったことや、原料となる鉄鉱石を中国から輸入するのに便利な港があったためです。
問5	答え 3 大規模な紡績会社が設立されるなど紡績業が発達し、国内での生産体制が整ったため。	1880年代後半、大阪紡績会社などの大規模な工場が設立され、蒸気機関を用いた機械による大規模な紡績業が発展しました。これにより国内での綿糸の生産量が増加し、製品としての綿糸を輸入する必要がなくなったため、統計上では製品の輸入が減り、代わりに原料である綿花の輸入が増加することとなりました。これは日本の軽工業における工業化（産業革命）を象徴する動きです。
問6	答え 1 樺太・千島交換条約	この条約は、当時ロシアとの間で帰属が不明確であった北方地域の領有権を整理するために結ばれた。日本は樺太全島をロシア領と認める代わりに、千島列島（占守島から得撫島まで）のすべてを領有することに合意した。のちの日露戦争後に結ばれたポーツマス条約による南樺太の譲渡とは、領土の範囲や経緯が異なる。
問7	答え 1 ロシアから戦費を補填するための賠償金を得られなかったから	日露戦争では、それまでの日清戦争とは異なり、国民は多額の増税や公債の引き受けを強いられました。国民は勝利による「賠償金」でその負担が報われることを強く期待していましたが、小村寿太郎が全権として出席したポーツマス条約では、ロシアに賠償金を支払う能力がなかったため、一銭も得ることができませんでした。このことが国民の大きな失望と怒りを買い、暴動へとつながりました。
問8	答え 1 富岡製糸場	明治政府は、欧米から最新の機械や技術を導入するために、外貨を獲得する必要がありました。当時、生糸は日本の主要な輸出製品であったため、フランスの技術を取り入れた官営模範工場を群馬県に建設し、全国の製糸技術の模範としました。
問9	答え 1 岩倉使節団と富岡製糸場	岩倉具視を特命全権大使とする使節団は、欧米の進んだ制度を視察するとともに条約改正の打診を行いました。また、外貨を獲得して国力を高めるために設立された富岡製糸場などは、日本の経済的・産業的な近代化を象徴する存在となり、こうした実力の向上が、後の不平等条約の撤廃へとつながる外交上の説得力となりました。
問10	答え 1 ラクスマンが根室に来航し、明治時代に樺太・千島交換条約が結ばれ、日露戦争後にポーツマス条約で南樺太を獲得した。	1792年にロシア使節のラクスマンが根室に来航し、江戸幕府に通商を求めたのが最初である。明治維新後の1875年には、国境を確定させるために樺太・千島交換条約が結ばれ、樺太をロシア領、千島列島を日本領とした。さらに日露戦争後の1905年、ポーツマス条約によって北緯50度以南の樺太（南樺太）が日本へ譲渡された。
問11	答え 1 貴族院	明治憲法下の帝国議会は、衆議院と貴族院の二つの議院で構成されていました。衆議院が納税額などの条件を満たした国民による選挙で選ばれたのに対し、貴族院は皇族・華族・勅任議員（天皇が任命した功労者や多額納税者）によって組織されていました。これは、民意が直接反映される衆議院に対し、保守的な勢力を置くことで政治の安定を図る目的がありました。
問12	答え 1 欧米の技術を積極的に取り入れることで産業を近代化させ、経済力をつけることで軍事力の強化を図るため	明治政府の最大の目標は、欧米諸国と対等に渡り合える「富国強兵」を実現することでした。その土台として、まずは国主導で機械工業や製糸業などの近代産業を育成する必要がありました。そのため、政府が直接資本を投じて官営模範工場を建設し、欧米の優れた機械や技術、技術者を導入して、国内の民間産業が発展するための手本としました。選択肢にある税制の安定は地租改正、身分制度の廃止は四民平等の目的です。
問13	答え 1 伊藤博文	国会開設に向けた準備として、政府は君権の強いドイツ（プロイセン）の憲法を模範とすることを決定しました。この調査を指揮したのが伊藤博文であり、彼は帰国後、行政の効率化と責任所在の明確化を図るために、従来の太政官制を廃止して内閣制度を確立しました。板垣退助は自由党を結成した人物、大隈重信は立憲改進黨を結成し開拓使官有物払下げ事件で政府を去った人物です。